

各日常生活圏域の特徴まとめ

※全体比較で3ポイント以上高い項目を「全体平均より高い」、3ポイント以上低い項目を「全体平均より低い」としています。

【内野・赤塚・中野小屋圏域】

内野・赤塚・中野小屋圏域は、新型コロナウイルス禍においても、地域行事や活動を大事にする人が多い傾向が窺える。

(根拠となる回答に (★))

- 設問(3)(日常生活への悪影響の有無)において、「悪影響があった」とした人の割合が全体平均より低い。
- 設問(4)(悪影響の内容)において、「各種イベントの開催・参加制限」、「通院や通学などの移動制限」と回答した人の割合が全体平均より高い。また、「旅行等の外出制限」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問(5)(生きがい・趣味活動への悪影響)において、「『活動に参加する』または『活動を行なうことを自粛した』」と回答した人の割合が全体平均より高い。また、「悪影響はなかった」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問(9)(気力・体力の低下予防)において、「家族の時間を大切にしている」「特に心掛けていることはない」と回答した人の割合が全体平均より高い。
- 設問(14)(家族以外の人との会話が欲しくない理由)において、「他の人との会話は十分にできている」と回答した人の割合が全体平均より高い。また、「一人でいることが好きだから」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問(17)(地域活動について思ったこと)において、「例年行なっている地域の行事や活動の大切さが分かった」と回答した人の割合が全体平均より高い。(★)また、「特に考えていない」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問(19)(ボランティアや地域活動への考えや現況)において、「多忙で参加する時間がない」と回答した人の割合が全体平均より高い。

- 設問（20）（人とのつながりをつくる（保つ）ために必要なこと）において、「住民が集える場が身近にある」と回答した人の割合が全体平均より高い（★）。また「地域内での見守り活動」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問（21）（地域のために『現在』協力していること）において、「身近な道路や公園などの清掃活動」と回答した人の割合が全体平均より高い。また、「特にない」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問（22）（地域のために『今後』協力可能なこと）において、「身近な道路や公園などの清掃活動」「祭りや盆踊り、運動会などのイベント」「地域の茶の間（いきいきふれあいサロン）」と回答した人の割合が全体平均より高い（★）。また、「高齢者や障がい者へのゴミ出しや除雪などのお手伝い」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問（23）（今後の地域活動を行なうために必要な視点）において、「子どもたちが安全に遊べる場所の検討」と回答した人の割合が全体平均より高い。

【小針・小新圏域】

小針・小新圏域は、新型コロナウイルス禍により、人と接する機会や運動量の減少による、気力・体力の低下を感じている人の割合が多い傾向が窺える。

(根拠となる回答に (★))

- 設問(4)(悪影響の内容)において、「人と接する機会の減による孤独や孤立」と回答した人の割合が全体平均より高い(★)。
- 設問(7)(運動量の変化)において、「運動量が減った」と回答した人の割合が全体平均より高い(★)。
- 設問(8)(気力の低下・体力の低下)において、「以前とほとんど変わらない」と回答した人の割合が全体平均より低い(★)。
- 設問(11)(家族以外との会話時間の変化)において、「変わらない」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問(14)(家族以外の人との会話が欲しくない理由)において、「一人であることが好きだから」の割合が全体平均より高い。
- 設問(15)(不安等を解消するために大切だと思うこと)において、「感染症予防・対策の周知、啓発」と回答した人の割合が全体平均より高い。また、「生活困窮者などへの経済的支援の充実」「住民同士が支えあえる地域づくりの推進」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問(20)(人とのつながりをつくる(保つ)ために必要なこと)において、「地域での見守り活動」と回答した人の割合が全体平均より高い。また、「地域の行事や活動に参加する」「住民が集える場が身近にある」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問(21)(地域のために『現在』協力していること)において、「特にない」と回答した人の割合が全体平均より高い。また、「自治会、町内会、民生委員、消防団などの団体活動や地域活動」「身近な道路や公園などの清掃活動」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問(22)(地域のために『今後』協力可能なこと)において、「身近な道路や公園などの清掃活動」と回答した人の割合が全体平均より低い。

- 設問（23）（今後の地域活動を行なうために必要な視点）において、「例年行なってきた地域の行事や活動内容の見直し」と回答した人の割合が全体平均より低い。

【坂井輪圏域】

坂井輪圏域は、新型コロナウイルス禍においては、家族や友人との関係を大事にする人が多い傾向が窺える。

(根拠となる回答に (★))

- 設問(3)(生活の変化等について)において、「あまり影響はなかった」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問(4)(悪影響の内容)において、「友人等の付き合いの悪化」と回答した人の割合が全体平均より高い (★)。
- 設問(5)(生きがい・趣味活動への悪影響)において、「イベントの中止や活動の場が閉鎖した」と回答した人の割合が全体平均より高い (★)。
- 設問(11)(家族以外との会話時間の変化)において、「変わらない」と回答した人の割合が全体平均より高い (★)。また、「会話する時間が減った」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問(12)(家族以外の人との会話意向)において、「どちらかと言えば思わない」と回答した人の割合が全体平均より高い (★)。また、「どちらかと言えば思う」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問(13)(家族以外の人との会話が欲しい理由)において、「通いの場やサークルなどに行きたいが、感染対策のため開催されていない」と回答した人の割合が全体平均より高い。
- 設問(15)(不安等を解消するために大切だと思うこと)において、「感染者等への誹謗中傷をしない『やさしいまちづくり』の推進」「住民同士が支えあえる地域づくりの推進」と回答した人の割合が全体平均より高い。また、「感染症についての相談窓口の周知」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問(18)(地域活動への参加有無)において、「過去に参加したことがあるが今はしていない」と回答した人の割合が全体平均より高い。また、「これまで参加したことがない」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問(22)(地域のために『今後』協力可能なこと)において、「特にない」と回答した人の割合が全体平均より高い (★)。

- 設問（23）（今後の地域活動を行なうために必要な視点）において、「**感染対策を行なった地域の行事や活動の検討**」と回答した人の割合が全体平均より高い。また、「**子どもたちが安全に遊べる場所の検討**」と回答した人の割合が全体平均より低い。

【五十嵐圏域】

五十嵐圏域は、新型コロナウイルス禍において、収入減による生活困窮を理由に経済的支援の充実を期待している人が多い傾向が窺える。また、地域活動については、他の圏域に比べ、ボランティア活動には関心が高いが、地域の行事や活動への協力意識が若干低い傾向が窺える。

(根拠となる回答に (★))

- 設問(4)(悪影響の内容)において、「収入減による生活困窮」「心身の健康面の悪化」と回答した人の割合が全体平均より高い(★)。また、「人と接する機会の減による孤独や孤立」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問(5)(生きがい・趣味活動への悪影響)において、「悪影響はなかった」と回答した人の割合が全体平均より高い。また、「イベントの中止や活動の場が閉鎖した」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問(6)(以前のように活動するための基準)において、「ワクチンの開発などにより、ある程度終息するまでは行わない」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問(7)(運動量の変化)において、「新型コロナウイルス禍以前とほとんど変わらない」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問(8)(気力の低下・体力の低下)において、「気力、体力ともに低下があった」と回答した人の割合が全体平均より高い。また、「気力が低下した」と回答した人の割合が全体平均より低い。(全体的にみると「以前とほとんど変わらない」と回答した人の割合が全体平均よりわずかに高い。)
- 設問(9)(気力・体力の低下予防)において、「運動を可能な限り積極的に行なっている」と回答した人の割合が全体平均より高い。
- 設問(12)(家族以外の人との会話意向)において、「思わない」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問(13)(家族以外の人との会話が欲しい理由)において、「相手に迷惑がかからないよう自粛している」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問(14)(家族以外の人との会話が欲しくない理由)において、「他の人との会話は十分にできている」と回答した人の割合が全体平均より高い。

- 設問（15）（不安等を解消するために大切だと思うこと）において、「生活困窮者などへの経済的支援の充実」と回答した人の割合が全体平均より高い（★）。また、「感染者等への誹謗中傷をしない『やさしいまちづくり』の推進」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問（17）（地域活動について思ったこと）において、「特に考えていない」と回答した人の割合が全体平均より高い。
- 設問（19）（ボランティアや地域活動への考えや現況）において、「役員や班長などの任期が終わった」と回答した人の割合が全体平均より高い。
- 設問（21）（地域のために『現在』協力していること）において、「高齢者や障がい者へのゴミ出しや除雪などのお手伝い」と回答した人の割合が全体平均より高い（★）。
- 設問（22）（地域のために『今後』協力可能なこと）において、「高齢者や障がい者へのゴミ出しや除雪などのお手伝い」「特にない」と回答した人の割合が全体平均より高い（★）。また、「身近な道路や公園などの清掃活動」「祭りや盆踊り、運動会などのイベント」「子育てサークルやPTA活動」と回答した人の割合が全体平均より低い（★）。
- 設問（23）（今後の地域活動を行うために必要な視点）において、「感染対策を行なった地域の行事や活動の検討」と回答した人の割合が全体平均より低い（★）。

【黒埼圏域】

黒埼圏域は、新型コロナウイルス禍による悪影響が他の圏域に比べ少なかった傾向が窺える。地域活動においては、調査時点では自粛を求める回答が多かった。また、環境美化推進について意識が高い圏域であることが窺える。

(根拠となる回答に (★))

- 設問(4)(悪影響の内容)において、「通院や通学などの移動制限」と回答した人の割合が全体平均より高い。また、「友人等の付き合いの悪化」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問(5)(生きがい・趣味活動への悪影響)において、「悪影響はなかった」と回答した人の割合が全体平均より高い(★)。また、「『活動に参加する』または『活動を行なう』ことを自粛した」と回答した人の割合が全体平均より低い(★)。
- 設問(6)(以前のように活動するための基準)において、「全く考えていない」と回答した人の割合が全体平均より高い(★)。
- 設問(7)(運動量の変化)において、「新型コロナウイルス禍以前より運動量が減った」と回答した人の割合が全体平均より低い(★)。
- 設問(8)(気力の低下・体力の低下)において、「気力、体力ともに低下があった」と回答した人の割合が全体平均より低い(★)。
- 設問(9)(気力・体力の低下予防)において、「特に心掛けていることはない」と回答した人の割合が全体平均より高い。また、「運動を可能な限り積極的に行なっている」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問(11)(家族以外との会話時間の変化)において、「変わらない」と回答した人の割合が全体平均より高い(★)。
- 設問(12)(家族以外の人との会話意向)において、「どちらかと言えば思わない」と回答した人の割合が全体平均より高い。
- 設問(13)(家族以外の人との会話が欲しい理由)において、「相手に迷惑がかからないよう自粛している」と回答した人の割合が全体平均より高い。また、「通いの場やサークルなどに行きたいが、感染対策のため開催されていない」と回答した人の割合が全体平均より低い。

- 設問（14）（家族以外の人との会話が欲しくない理由）において、「**他人と会話するのが苦手**」「**他の人との会話は十分にできている**」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問（15）（不安等を解消するために大切だと思うこと）において、「**感染者等への誹謗中傷をしない『やさしいまちづくり』の推進**」と回答した人の割合が全体平均より高い。
- 設問（16）（活動の再開や自粛についての考え）において、「**ワクチンや薬の開発があるまでは、このまま自粛をするとよい**」と回答した人の割合が全体平均より高い（★）。また、「**感染症予防対策を十分に行い、工夫しながら活動や行事を再開するとよい**」と回答した人の割合が全体平均より低い（★）。
- 設問（19）（ボランティアや地域活動への考えや現況）において、「**多忙で参加する時間がない**」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問（20）（人とのつながりをつくる（保つ）ために必要なこと）において、「**地域の行事や活動に参加する**」と回答した人の割合が全体平均より高い。また、「**地域内での見守り活動**」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問（22）（地域のために『今後』協力可能なこと）において、「**身近な道路や公園などの清掃活動**」「**資源回収やゴミの分別、リサイクル活動**」と回答した人の割合が全体平均より高い（★）。また、「**特にない**」と回答した人の割合が全体平均より低い。
- 設問（23）（今後の地域活動を行なうために必要な視点）において、「**例年行なってきた地域の行事や活動内容の見直し**」と回答した人の割合が全体平均より高い。